

DIGITAL DRUM BANK



取扱説明書

ART  
Z  
YAMAHA

# ごあいさつ

このたびは、ヤマハ・デジタル・ドラム・バンク・DD-10をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

DD-10は、ヤマハが世界に誇る先進のデジタルテクノロジーの粋を結集したニューコンセプト溢れるドラムマシンです。

音源にはPCM方式を採用、打楽器音をリアルに再現します。プリセットパターンは100パターン。まさにリズムの宝庫にふさわしく世界のリズムパターンのほとんどすべてを取り揃えました。

本書では、その魅力を充分お楽しみいただけますように正しい取り扱い方を順を追って説明しています。実際に操作しながら、ぜひお読みください。

# もくじ

	ページ		ページ
DD-10ガイド	1	パターンを創ろう	8
各部の名称とはたらき	2	MIDIコントロール	9
パッドでLET'S PLAY	4	MIDIインプリメンテーションチャート	11
リズムパターンに合わせて	6	故障と誤りやすい現象/仕様	12

## ご使用の前に



### …設置場所

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿度やホコリの多い場所



### …無理な力を加えない

過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないようにご注意ください。



### …電源について

- 電源アダプターをご使用の場合は、必ず、AC100Vの電源コンセントをご使用ください。
- ご使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。
- 長い間、使わないときは電池を本体から抜いてください。
- 電源アダプターもご使用後は、必ず、電源コンセントからはずしてください。



### …外装のお手入れ

お手入れは、乾いた布でカラ拭きするか、汚れのひどいときは少し湿らせた布で拭いてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製のカバーは使用しないでください。



### …他の電気機器への影響

テレビやラジオをつけているときに、その近くで使いますと雑音が発生する場合がありますのでご注意ください。



### …保証書の手続き

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただく場合がありますので、充分ご注意ください。



### …保管

この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。



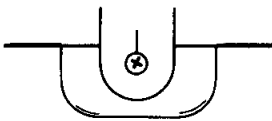
### …本書で使用しているマーク記号

- 注意を要する事項
- 指定ページ参照

# DD-10ガイド

## ストラップの取り付け

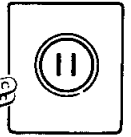
下図のように本体裏面のフックにストラップの溝を差し込んでください。



ここでストラップの長さを調節します。

オプションの電源アダプターPA-1Bで、家庭用AC100Vから電源を供給できます。

AC100V



## MIDIでグレードアップ

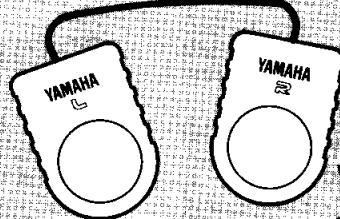


ポータトーン

DD-10のMIDI IN端子とポータトーンなどの外部機器のMIDI OUT端子を別売のMIDIケーブルで接続して外部機器でDD-10をコントロールできます。

HEADPHONES端子にはモニージャック付きのヘッドホンをご使用ください。

HEADPHONES

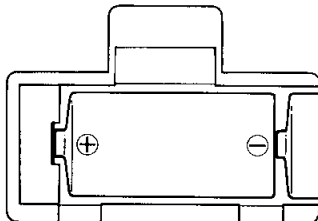


PEDAL

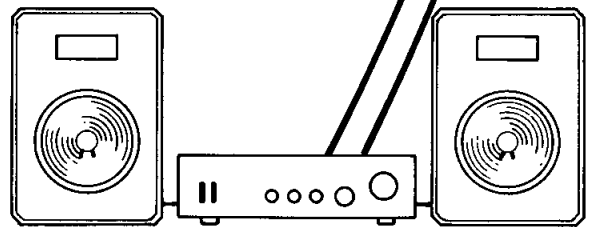
付属のPEDALをFOOT PEDAL端子に接続してライブ感覚のドラム演奏ができます。

## 電池の入れ方

まず、本体裏面にあるケースのカバーをはずし、単二乾電池を+の方向を間違わないように入れます。電池が少なくなると、ディスプレイ表示が消え、電池の取り替え時期を知らせます。新しい電池をご用意ください。

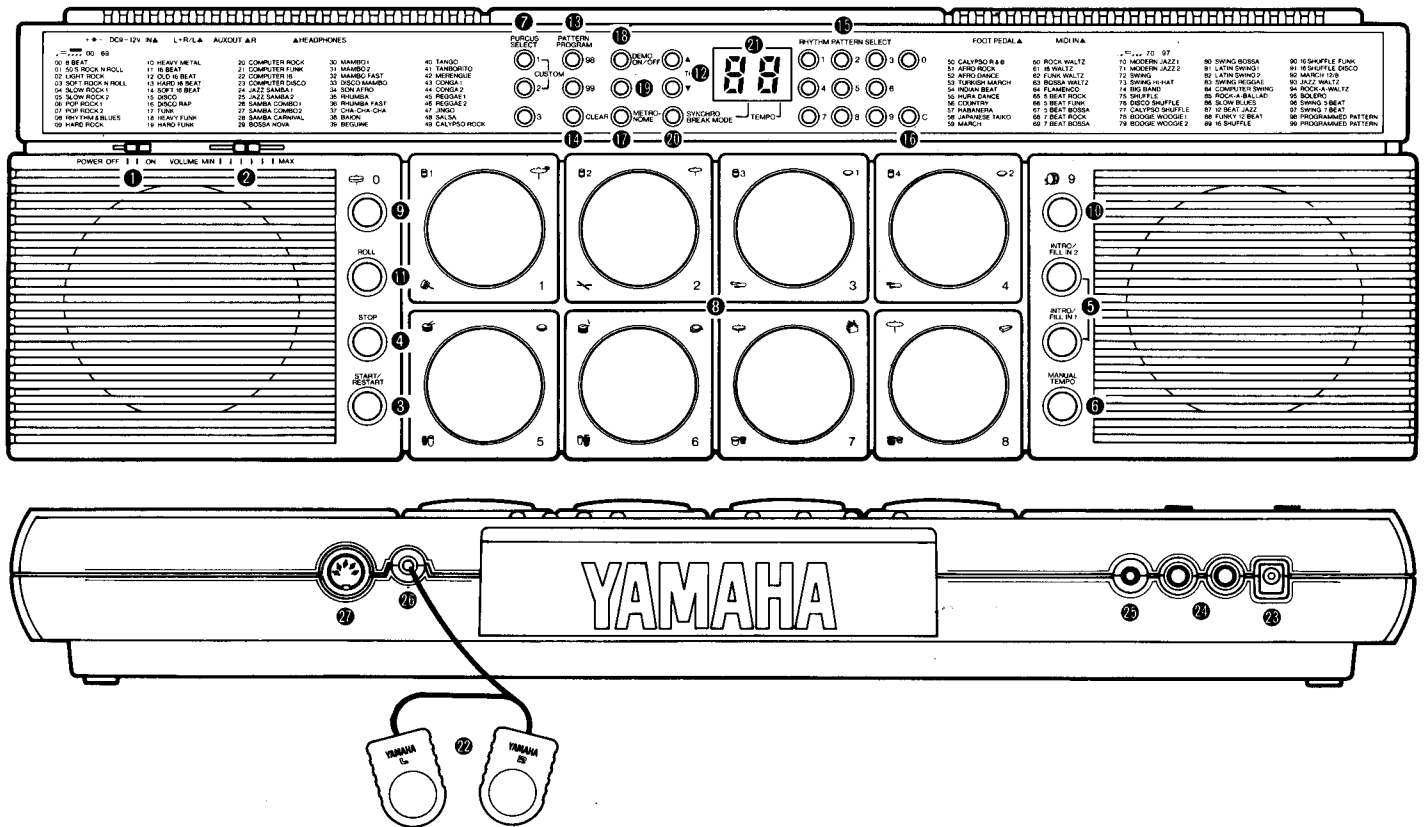


## 外部スピーカーで迫力のプレイ



DD-10のAUX OUT端子を接続コードで、アンプなどのAUX IN端子につなぐと、大音量で迫力のプレイがお楽しみいただけます。

# 各部の名称とはたらき



① ( )内は本体にしるされている表示です。

## ① パワースイッチ (POWER)

電源をON/OFFするスイッチ。また、テンキーの8と9のボタンを押しながら電源をONにすると、内部のメモリーを初期化します。

## ② ボリューム (VOLUME)

内蔵スピーカー、AUX OUTまたはHEAD PHONESからのオーディオ信号の出力レベル(音量)をコントロールするレバーです。

## ③ スタート/リスタート (START/RESTART)

ディスプレイ上の表示されたリズムパターンの演奏をスタートするためのボタンですが、リズム演奏中にこのボタンを押すとリズムパターンの頭に戻るリスタートになります。

## ④ ストップ (STOP)

リズムパターンの演奏を止める時に押します。その他にデモンストレーション演奏の停止、メトロノーム音の停止、パターンプログラム状態の解除の際に使います。

## ⑤ イントロ/フィルイン1、2 (INTRO/FILL IN 1、2)

選ばれたリズムパターンに応じて、イントロ/フィルインのパターンが得られます。

## ⑥ マニュアルテンポ (MANUAL TEMPO)

このボタンでタイミングをはかりながらそのテンポ(マニュアルテンポ)でリズムをスタートさせることができます。またリズムパターン演奏中にもテンポを補正することができます。

## ⑦ パーカッションセレクト (PERCUS SELECT)

8個のパッドの楽器指定を行います。緑色の1のボタンを押すとパッド上の緑色のイラストの打楽器がパッドに割り当てられます。同じように紫色の2のボタンを押すと紫色のイラストの打楽器、白色の3のボタンを押すと白色のイラストの打楽器がそれぞれ割り当てられます。

## ⑧ パッド1~8 (1~8)

パーカッションセレクトで選ばれた打楽器が、8つのパッドに割り当てられ、パッドを叩くとその打楽器が発音します。また、パッドを叩く強さにより音量が2段階に分かれて発音されます。

## ⑨ ハイハットボタン (H)

このボタンはペダルを使用しない時、ハイハットの音(パーカッションセレクト1にした時のパッド7)のオープン/クローズを決めるためのものです。このボタンを押すとオープン、はなすとクローズとなり、また、ペダルを接続するとこのスイッチは機能しなくなります。このボタンのみでは、発音しませんのでご注意ください。

## ⑩ バスドラムボタン (B)

このボタンを押すと、バスドラムの音が発音されます。また、ハイハットボタンと同じようにペダルの足を踏み込んでもバスドラムの音を発音させることができます。このボタンはペダルを接続している時も使用できます。

## ⑪ ロール (ROLL)

このボタンを押しながらハイハットボタン以外の1-9のパッドを押し続けると、連続してパッドを叩くようなロール効果が得られます。

## ⑫ テンポ▲/▼ (TEMPO▲/▼)

リズムテンポのアップ/ダウンを行います。テンポは、♩ = 43-345の間で、1ステップの単位(ディスプレイに表示されるのは、00-60のステップです。)で変えることができます。▲のボタンを押すと1ステップ、テンポが速くなり、▼のボタンを押すと1ステップ、テンポが遅くなります。また、▲と▼の両方のボタンを押すと、選ばれているリズムパターンの標準テンポ(リズムパターンを選んだときに自動的にセットされる標準的なテンポ)になります。

### ⑬パターンプログラム (PATTERN PROGRAM)

リズムパターンの98と99には、パターンを作って登録できます。この98か99のボタンのいずれかを押すと、パターンを作る(プログラム)状態になります。

内部のメモリーの初期化を行った状態では、98と99のどちらにもパターン00の8BEATが入ります。

### ⑭クリア (CLEAR)

パターンプログラム中に、このボタンを押しながらパッドを押すとパターンを構成している音が、そのパッドに割り当てられている打楽器音であったならプログラムしたその音を消去することができます。そのため、パターンプログラム中は、何度でもプログラムとクリアを繰り返しながら気に入ったパターンを作ることができます。

また、パターンプログラム中に、このボタンを押しながらパターンプログラムのボタン(今、プログラムしている方)を押せば、パターンをすべて消去して、はじめからつくることができます。

### ⑮リズムパターンセレクト (RHYTHM PATTERN SELECT 0-9)

リズムパターン(00-99)を選ぶ時に使います。最初に押した数字は10の位に表示され、次に押した数字は1の位に表示されます。リズムパターン演奏中のONでは、1の位が決まった時点で、そのパターンが選ばれ、次の小節の頭からそのパターンが演奏されます。

### ⑯キャンセル (C)

リズムパターンを0-9のテンキーで選んでいる時に、10の位を入力した時点でこのボタンを押すと、今、入力した10の位をキャンセルし、前のパターンに戻すことができます。

### ⑰メトロノーム (METRONOME)

このボタンを押すとメトロノーム音を発音します。このボタンを押した後にリズムをスタートするとメトロノーム音は、その時点のリズムパターンのテンポに同期します。同様に、リズムパターン演奏中にこのボタンを押すと、リズムパターンのテンポに同期します。メトロノーム音を消したい場合は、このボタンを押すか、ストップのボタンを押してください。

### ⑱デモ オン/オフ (DEMO ON/OFF)

このボタンを押せば、いつでもデモンストレーション用のリズムパターンを聴くことができます。

また、このデモンストレーションパターンは、自動的にくり返し演奏されます。

### ⑲MIDIモード (MIDI MODE)

このボタンを押しながら、テンキー(0-9)を押すことにより次の3つの設定が行えます。

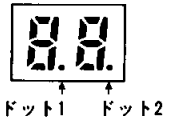
- MIDI+(00)→MIDIレシーブモード1の設定  
キーノート情報を受信して、そのノートナンバーに合った打楽器音を発音します。
- MIDI+(99)→MIDIレシーブモード2の設定  
キーノート情報は受信しませんが、外部機器からリズムパターンを選択できるプログラムチェンジとリズムのスタート及びストップ、クロックを受けつけます。
- MIDI+(01~16)→受信チャンネルの設定  
受信チャンネルを変えたい場合は、テンキーで01-16まで2桁の数字を入力します。  
ただし、キーノート情報とプログラムチェンジは、チャンネルメッセージですので、送信側の機器の送信チャンネルと合っていないと受信しませんのでご注意ください。

### ⑳シンクロブレイク (SYNCHRO BREAK)

このボタンを押すと、リズムパターンが鳴っている間、パッド/バスドラム/ペダルで、リズムパターンをその小節のおわりまでブレイクすることができます。また、シンクロブレイクモードになっている時は、ディスプレイの10桁目と1桁目の間のドットが点灯します。このシンクロブレイクモードを解除したい場合は、再びこのボタンを押してください。

### ㉑ディスプレイ

リズムパターンナンバーの表示。また、MIDIボタンを押すことでMIDIの受信チャンネルを表示します。



- ドット1はシンクロブレイクモード時点灯。
- ドット2はビートを表示する。4拍子のリズムパターンでは、1拍目は明るく、2・3・4拍目は暗く点灯します。
  - ・3拍子では、1拍目は明るく、2・3拍目は暗く点灯する。
  - ・5拍子では、1拍目は明るく、2・3・4・5拍目は暗く点灯します。
  - ・7拍子では、1・5拍子は明るく、2・3・4・6・7拍目は暗く点灯します。
- テンポが変更された時は、約1秒間テンポを表示します。

### ㉒ペダル (PEDAL)

付属端子のFOOT PEDALに接続してお使いください。Lのペダルを踏み込むと、ハイハットクローズの音が発音されます。この時、パーカッションセレクト1にして、パッド7(ハイハットクローズ)を叩くとハイハットオープンの音が発音し、ペダルを押しながらパッド7を叩くとハイハットクローズの音になります。パッドのオープンがクローズかの選択をコントロールできるのです。また、Rのペダルを踏み込むとバスドラムの音が発音されます。同時発音数は、1-8のパッドと同じ6音ですが、パッドのようにタッチセンサーは付いていませんので、踏み込む強さによる音量差はありません。

### ㉓DC 9-12V IN

電源アダプターPA-1Bをこの端子に接続して、AC100Vの家庭用電源から電源を供給することができます。また、乾電池をお使いになっている際には、乾電池からの電源供給を自動的にカットしますので、乾電池を取り外さずにDD-10をお使いいただけます。必ず指定のアダプター(PA-1BまたはPA-1)をご使用ください。

### ㉔AUX OUT L+R/L、R

標準プラグが付いている接続コードでアンプなどに接続してプレイがお楽しみいただけます。L+R/Lの端子のみに接続した場合は、ステレオ出力のL信号とR信号が適正にミックスされたモノラル出力となります。L+R/LとRの両方の端子に接続した場合は、通常のステレオ出力になります。また、内蔵スピーカーへも同時に出力します。

### ㉕HEADPHONES

内蔵スピーカーからの出力を止めて、ヘッドホンでプレイを楽しみたい時に、ミニプラグ付のヘッドホンをこの端子に接続してください。

### ㉖FOOT PEDAL

付属のペダルを接続して、バスドラムとハイハットの打楽器音を足でコントロールする際に接続します。

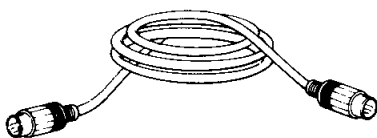
### ㉗MIDI IN

MIDIデータの入力端子。

## オプション

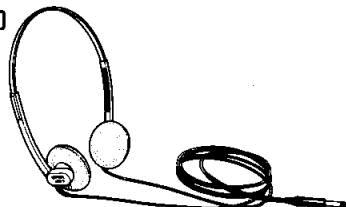
#### ●MIDIケーブル (MIDI-03)

¥1,100



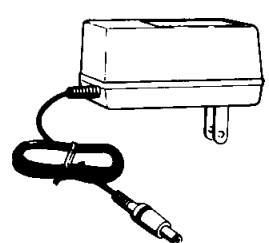
#### ●ステレオヘッドホン (HPE-3)

¥3,000



#### ●電源アダプター (PA-1B)

¥2,000



# パッドでLET'S PLAY

パッドの基本的な使い方をマスターしましょう。

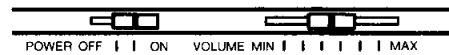
まず、付属のペダルをFOOT PEDAL端子に接続して足で操作してお使いください。Rのペダルを踏み込むとバスドラム、Lのペダルを踏み込むとハイハットクローズの音が出てきます。このように足でバスドラムとハイハットの音をリアルに出すことができます。

1-8のパッドには、緑、紫、白色のイラストの打楽器音がプリセッ

トされています。この色別の打楽器群を選択するのがパーカッションセレクトのボタンです。また、このパッドに好みの打楽器音を割り当てることもできます。これをカスタムパーカッションセレクトといい、ご購入になられた際には、ファクトリーセットと呼ばれる打楽器音群がプリセットされています。このカスタムパーカッションセレクトはパーカッションセレクトの1と2のボタンを押すことで呼び出すことができます。

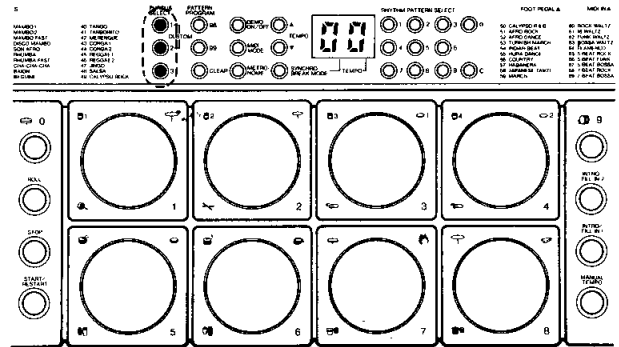
## 1 パワースイッチのレバーを入れて、ボリュームを調節してください。

- パワースイッチのレバーをONにします。
- ボリュームをパッドのひとつを叩きながら、調節してください。
- ☑電源ON時は、パーカッションセレクト1が選ばれています。



## 2 パーカッションセレクト1-3のボタンを押して、パッドの上に各ボタンに対応した打楽器音を展開します。

- パーカッションセレクトの緑色の1のボタンを押すと1-8のパッドの上に緑色のイラストの打楽器をアサイン（割り当てる）することができます。
- パーカッションセレクトの紫色の2のボタンを押すと1-8のパッドの上に紫色のイラストの打楽器をアサインすることができます。
- パーカッションセレクトの白色の3のボタンを押すと、1-8のパッドの上に白色のイラストの打楽器をアサインすることができます。
- パーカッションセレクトの1と2のボタンを同時に押すとプリセットされたカスタムパーカッションセレクトを0-9のパッド上にアサインすることができます。

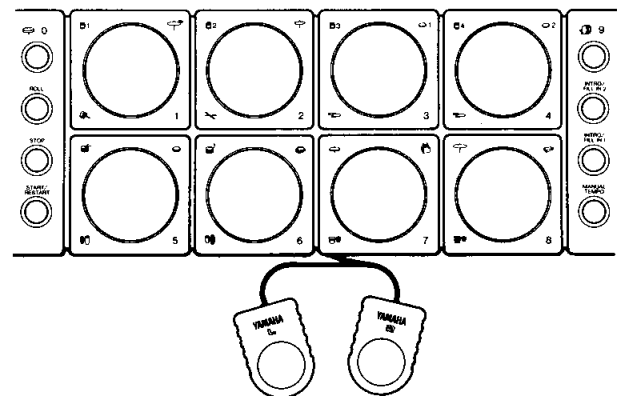


パーカッションセレクト	1 (緑色)	2 (紫色)	3 (白色)	1+2
ハイハットボタン(0)	ハイハットオープン/クローズ	ハイハットオープン/クローズ	ハイハットオープン/クローズ	ハイハットオープン/クローズ
パッド 1	タムタム 1	カバサ	クラッシュシンバル	クラッシュシンバル
パッド 2	タムタム 2	クラベス	スプラッシュ	タム 2
パッド 3	タムタム 3	アゴゴ ロー	シンセ ロー	タム 3
パッド 4	タムタム 4	アゴゴ ハイ	シンセ ハイ	ライドシンバル
パッド 5	スネア	コンガ ロー	シンセ スネア	スネアドラム
パッド 6	リム	コンガ ハイ	カスタネット	リムショット
パッド 7	ハイハット	ボンゴ ロー	ハンドクラップ	ハイハット
パッド 8	ライドシンバル	ボンゴ ハイ	カウベル	タム 4
バスドラムボタン(9)	バスドラム	バスドラム	バスドラム	バスドラム

☑上表のカスタムパーカッションセレクト(1+2)は、工場出荷時にプリセットされた打楽器音です。ご自分でアサインしたい場合は、4の手順をご覧ください。このファクトリーセットのデータは、内部メモリーの初期化を行うといつでも呼び出すことができます。▶10ページ

## 3 パッドまたはペダルで音をだしてみよう。

- 1-8のパッドを叩いてみましょう。  
パッドを叩くスピードで音量が2段階で変わります。弱く叩けば小さな音が、強く叩くと大きな音がでます。
- 0と9の音を出してみましょう。  
Lのペダルを踏み込むと、ハイハットクローズの音がでます。このとき、パーカッションセレクトを1にして、パッド7（ハイハットクローズ）を叩くと、ハイハットクローズの音になりさらにペダルをはなして叩くとハイハットオープンの音になります。  
Rのペダルを踏み込むと、バスドラムの音がでます。ペダル操作による音量差はありません。バスドラムの音は9のボタンを押すことで得られます。これは、ペダルを装着しない時などにお使いください。



●ロールのボタンを押しながらパッド1-8、9のバスドラムのボタン、Rのペダルを踏み込むと、連続して打楽器を叩いているようなロール効果が得られます。また、メトロノームのボタンを押すとメトロノーム音が発音されます。メトロノーム音の速さはテンポの▲と▼のボタンで変更することができます。このメトロ

ノーム音を消したい場合は、再びメトロノームのボタンを押すか、ストップのボタンを押してください。

●同時に発音させることができるのは6音です。手と足を上手に動かして演奏してください。

## 4 0-9のボタンに打楽器音をアサイン (割り当てる) してみましょう。(カスタムパーカッションセレクト)

まず、パーカッションセレクトでアサインしたい打楽器群を出します。その後、テンキー (0-9) でアサインさせたいパッド及びボタンの番号を押しながらC (キャンセル) キーを同時に押した状態

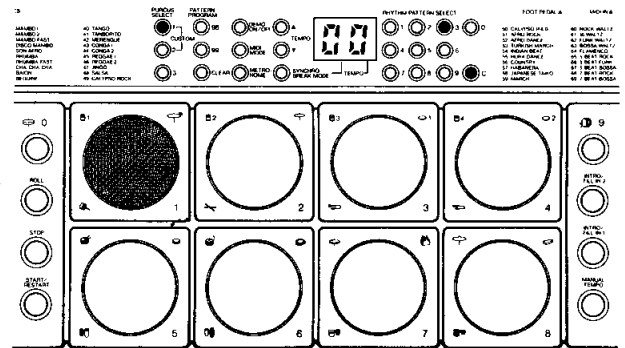
で、お好みの打楽器音をパッドを叩くかペダルを踏み込んで音を出します。

(EX.) 右図をご覧ください。パーカッションセレクト1 (緑色) のボタンを押して、パッド1のスネアドラムをパッド3にアサインさせる例です。

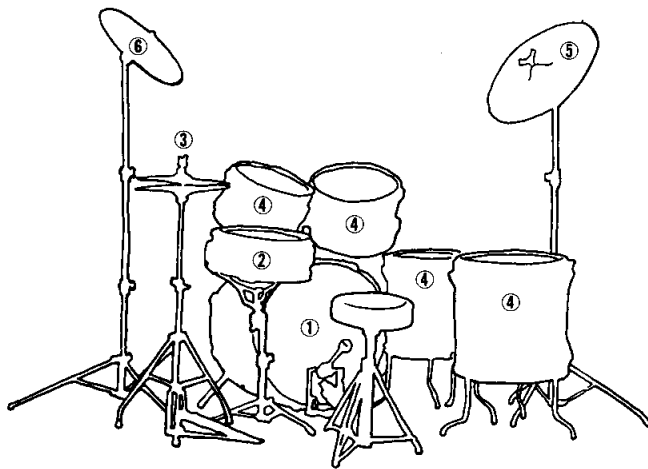
●その後、パーカッションセレクトの1と2のボタンを同時に押してカスタムパーカッションセレクトを呼び出して自由に叩いてください。同じ操作で、好みの操作しやすい打楽器音群を創ってください。

●異なるパッドやペダルに同じ打楽器音をアサインすることもできます。こうすると早打ちが楽にできます。

●ハイハット (オープン/クローズ) は、0以外のパッドやペダルにアサインすることはできません。



## 打楽器の解説



### ①バスドラム

ドラムセットの中でいちばん大きな太鼓。

### ②スネアドラム

響き線 (スナッピー) が付いたドラム。

#### ●リム

小太鼓のふちを打つ奏法。

### ③ハイハット

足の操作で開閉する2枚組のシンバル。開いた状態をハイハットオープンといい、閉じた状態をハイハットクローズといいます。

### ④タムタム

ドラムセットで使われる中・小型の太鼓。

### ⑤ライドシンバル

ドラムセットに用いるシンバルで、音色はやや高い感じ。

### ⑥クラッシュシンバル

余韻が長め。短く鋭い奏法に適している。

### ●コンガ



高さ75cmぐらい、直径30cmぐらいの樽形の太鼓。2個を1組として使い、2個の音程は高低が異なるように調律します。低い方をコンガロー、高い方は、コンガハイといいます。

### ●カバサ



ひょうたんと植物のじゅす玉でつくった南アフリカの楽器。

### ●クラベス



直径2.5cm、長さ17cm前後のキューバに起源をもつ円筒形の拍子木。多くのラテン・アメリカ音楽に影響を与えている。

### ●ボンゴ



大小2個の小型の片面太鼓をつなぎ合わせたラテン・アメリカのリズムには欠かせないキューバの楽器。大きい方をボンゴロー、小さい方をボンゴハイといいます。

### ●アゴゴ



2個のまるく細長いカウベルを1本の鉄の柄でつないだもので、異なる音程を持つ。高い方をアゴゴハイ、低い方をアゴゴローと呼びます。

# リズムパターンにあわせて

00-10には100種類のリズムパターンがあります。ただし、パターン98と99は自分でリズムパターンをプログラムして登録するメモリーになっています。このパターンプログラムについては、8ページをご覧ください。

ここでは、プリセットされたリズムパターンにあわせて、先に説

明したパッドによる演奏をしてください。演奏のポイントは、リズムの刻みを的確につかみ、それに合ったリズム楽器を選んで叩くことです。また、イントロ/フィルイン、マニュアルテンポ、シンクロブレイク、ロールなどを有効に使い、プリセットのリズムパターンをベースにメリハリをつけてください。

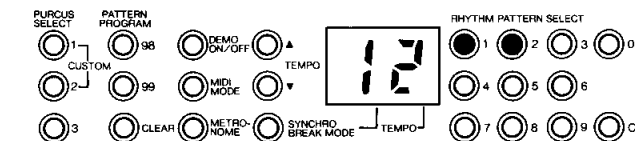
## 1 リズムパターンを選びましょう。

00-99までのリズムパターンの中から好みのパターンを選びましょう。電源ON時はパターン00の8BEATが自動的に選ばれます。これを変更したい場合は右図のように0-9までのテンキーで2桁を入力します。最初のテンキーONはディスプレイ上の10の位に表示され、次のテンキーONは1の位に表示されます。また、どのモードでも操作可能です。例えば、リズムパターン演奏中でもこのテンキーでパターンを変更できます。Cのキャンセルキーは、10の位に入力した後、そのパターンを取り消す時にお使いください。リズムパターン演奏中にパターンを変更しようと10の位に入力した後、このボタンを押して取り消す時などに有効です。尚、パターン演奏中の変更は1の位を入力するとパターンが予約状態となり、次の小節の頭からそのパターンが演奏されます。

各パターンは、それぞれ拍数、分解能（クオンタイズ）、小節数が異なります。

これは、パターンプログラムをお使いになるときの制約条件ともなります。

- 拍数(beat)：普通、BEATと呼ばれるものでリズムの基本となります。
- 分解能(quantize)：1小節をタイミング的に何等分しているかということです。同時発音数もこの分解能に準じて計られます。詳しくは、8ページ“パターンプログラム”参照。またパッドによる演奏は分解能には左右されませんので、分解能の隙間を埋めるような演奏も可能です。
- 小節数(bar)：くり返されるリズムパターンの1単位の長さの小節数です。4拍子と3拍子は2小節のパターンになっています。



pattern number	拍数 beat	分解能 quantize	小節数 bar
00-59	4	16	2
60-64	3	16	2
65-67	5	16	1
68-69	7	16	1
70-92	4	24	2
93-95	3	24	2
96	5	24	1
97	7	24	1
98-99	選択パターンにより決まる		

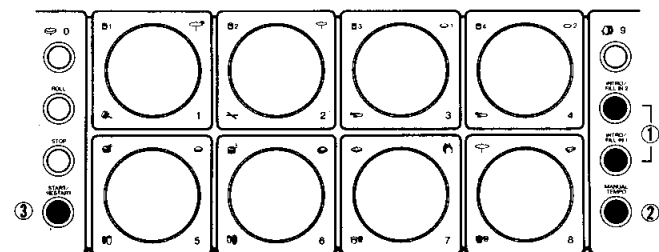
## 2 リズムパターンをスタートさせましょう。スタート方法は3通りあります。

①イントロスタート……イントロの2つのボタンのいずれかを押すとイントロ/フィルインパターンがスタートして、その後続き、選ばれたリズムパターンがスタートします。

②マニュアルテンポスタート……マニュアルテンポのボタンを選ばれているリズムパターンの拍数分、タイミングをとりながら押さえるとそのテンポでスタートします。その際、ディスプレイ上には押した間隔を感知してリアルタイムでテンポが表示されます。ディスプレイにテンポが表示されない場合は、マニュアルテンポのボタンを押す間隔が空きすぎていて、♪=43以下になっているためです。もう少し速くマニュアルテンポを押してください。また、押すたびにリムショットの音が発音されます。この方法は、自分の感性でスタートできることで大変便利な機能です。また、テンポ感を養う（ディスプレイ上のテンポ表示に変化がなければ、あなたはかなりセンスがあるといえます。）意味でも有能な機能です。

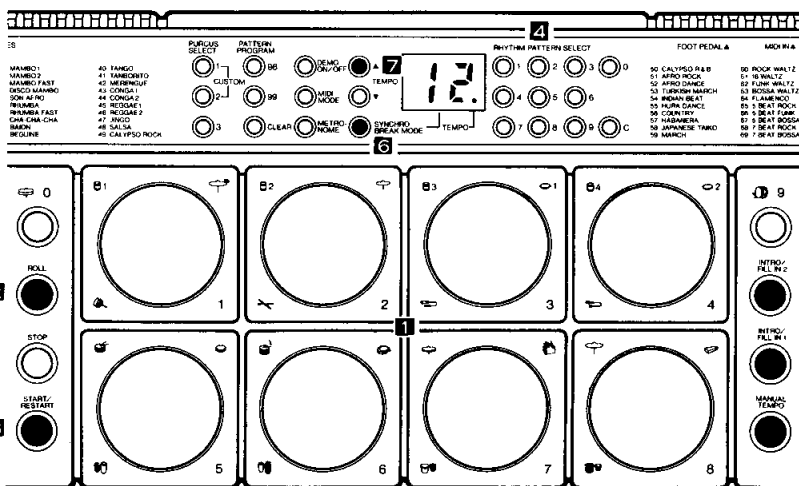
③ノーマルスタート……スタートのボタンを押して頭からリズムパターンをスタートさせる通常の方法です。

マニュアルテンポ以外のスタートでは、スタート以前に設定したテンポ（テンポを設定しない場合は、各リズムパターンの標準テンポがえらばれます。）でスタートします。





### 3 演奏中に次のことを試してみましょう。



#### ① パッドを叩く、ペダルを踏み込む

リズムパターンの停止状態と同じようにパッドまたはペダル操作をおこなってください。同時発音数は6音でリズムパターンと重なった場合は、リズムパターンの音符の数を含めて6音になりますのでご注意ください。

#### ② ロールボタンを押しながらのパッド、ペダル操作

リズムパターンの停止状態と同じようにお使いになれます。

#### ③ リスタートによるパターンの頭出し

演奏中にスタートのボタンを押すとパターンの頭出しをおこなえます。フィルインを入れるタイミングを確認したい時などにお使いください。また、このリスタートはパターンプログラムをおこなう時に特に有効となります。

#### ④ リズムパターンの変更

前ページで説明した要領でパターンを変更してください。

#### ⑤ フィルインの挿入

イントロ/フィルインのボタン演奏中に押すと、フィルインパターンがその小節の終わりまで続きます。また、小節をはさんで押し続けると、次の小節もフィルインパターンになります。また、ひとつのフィルインパターンが鳴っている間に、もうひとつのフィルインを押すとそのフィルインパターンに切り替わります。

#### ⑥ シンクロブレイク奏法

このボタンを押してシンクロブレイクモードにすると、パッドまたはペダル操作で、リズムパターンをその小節のおわりまでブレイク（中断）することができます。その結果、リアルタイムのパッドまたはペダルの奏法を引き立て演奏にメリハリを付けることができます。

### 4 ストップのボタンで演奏を止めてください。

ストップのボタンを押すとすぐに演奏がとまります。また、フィルインパターン中でも止めることができます。特別なストップの方法としては、シンクロブレイクモードにしてリアルタイムの演奏で好みの音を発音させた後、リズムパターンが再開する前にストップするなどの方法があります。

また、ストップのボタンが押された時点からその小節が生きている間に、イントロ/フィルインのボタンを押すとインテンポのままフィルインパターンの後に、リズムパターンを次の小節から再開させることができます。

#### ⑦ テンポボタンによるテンポの変更

この操作は、停止状態においてもおこなえますが、まず、リズムパターンをスタートさせ、現在のテンポを実際に確認してから行うのがいいでしょう。テンポはディスプレイに表示され、▲のボタンを押すとテンポが1ステップ速くなり、▼のボタンを押すと1ステップ減ります。また、どちらのボタンも1秒以上押し続けると高速に変化します。標準テンポに戻りたい時は、2つのボタンを同時に押ししてください。

#### ⑧ マニュアルテンポによるテンポの変更

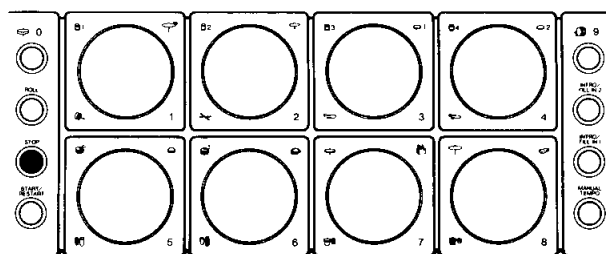
マニュアルテンポによるテンポの変更は実践派向きです。例えば、早いbeatからバラードのような曲奏にすばやくチェンジするとき大変便利な機能です。操作は、マニュアルテンポのボタンを現在のテンポの間隔より2倍以内の長さで押ししてください。その間隔（間隔を与えるということは、2回立て続けに押しということです）を感知してその間隔に対応したテンポに設定します。また、設定したテンポはディスプレイに表示されます。表示されない場合は、条件を満たしていないためか、ボタンをしっかりと押さなかったためです。もう一度お試しください。

※速く押しても、♩=345が限度です。

#### ●ディスプレイ表示のステップテンポと実際のテンポ

楽譜に記されているテンポを設定したい場合は、下表をご参照ください。

ディスプレイ	00	05	10	15	20	25	30
テンポ	43	52	62	73	86	103	121
ディスプレイ	35	40	45	50	55	60	
テンポ	147	172	204	244	294	345	



# パターンを創ろう

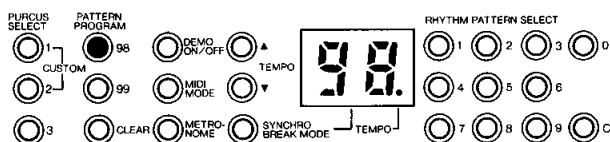
DD-10はパターンを創ることができるパターンプログラムを備えています。創ったパターンはパターンナンバー98か99の2つの領域に登録されます。この領域は、カスタムパーカッションセレクトと同じように読み出しと書き込みの両方が可能で、電源をオフにしても乾電池によりバックアップされます。

パターンプログラムの手順を要約すると、登録したい98か99のボタンのいずれかを押し、プログラムをスタートし、必要に応じて参考にしたリズムパターンを選びます。この操作を行うことで

参考にしたリズムパターンのビートと小節数と分解能を取り込むことができます。その後、パッド及びペダル操作によってパターンを入力します。入力に失敗した時はクリアキーを押しながらその打楽器音に対応したパッド、ペダルを押してください。この操作を繰り返しながらパターンを創り上げていきます。プログラムを停止する場合はストップかプログラムを開始したボタンを押します。こうして創ったパターンはテンキー操作で呼び出すことができます。

## 1 98か99のボタンのいずれかを押し、プログラムを開始します。

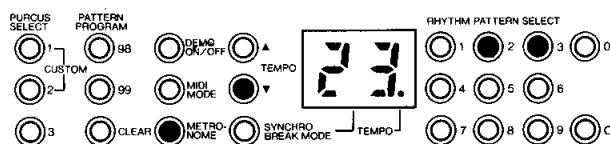
PATTERN PROGRAMと表示されている98か99のボタンを押すと、プログラム開始状態となりディスプレイが点滅します。また、押されたボタンに該当するパターンナンバーが演奏されます。



## 2 必要に応じて参考にしたパターンナンバーをテンキー操作で選んでください。

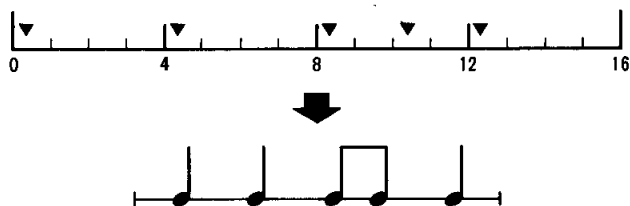
リズムパターンセレクトのテンキーで参考にしたパターンをパターンプログラム上のRAM領域に持ってきます。この時、ディスプレイは選んだパターンナンバーを一瞬表示し、元の点滅状態になります。

その後、入力したいテンポに調節します。また、メトロノーム音を加えたい場合はメトロノームのボタンを押してください。



参考パターンを選ばない場合は、現在のRAM領域にあるパターンが参考パターンとなります。

●この操作で、拍数(BEAT)と小節数(BAR)と分解能(QUANTIZE)が決まります。例えば、パターンナンバー11の16BEATを選ぶと4拍子の16分解能の2小節パターンになります。右図をご覧ください。1小節目に右図のタイミングで入力すると、与えられた分解能上に音符が補正されて記録されます。



## 3 パターンをパッド及びペダルで入力します。

パッドを叩くか、ペダルを踏み込んでパターンを入力してください。設定した小節数で演奏が繰り返され、入力したパターンが再生されます。また、タッチの強弱2段階およびロール音も入力できます。

●入力に失敗した時は、クリアのボタンを押しながら消したい打楽器のパッドを押してください。同じ操作で参考パターンの打楽器を消すこともできます。また、すべての音を消したい場合は、クリアのボタンを押しながらプログラムを開始した98か99のボタンを押してください。この時、自動的にメトロノーム音が発音します。これを消したい場合は、メトロノームのボタンを押してください。

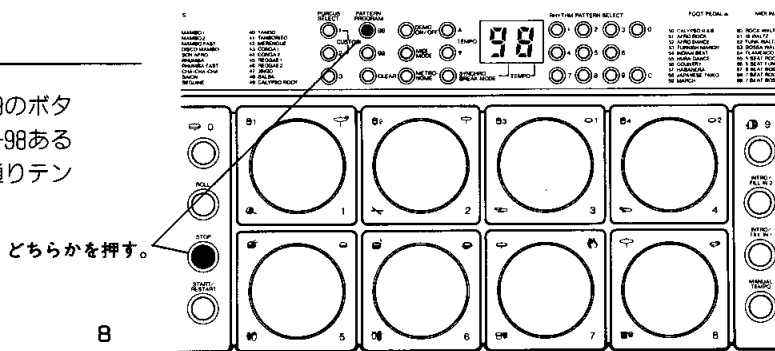
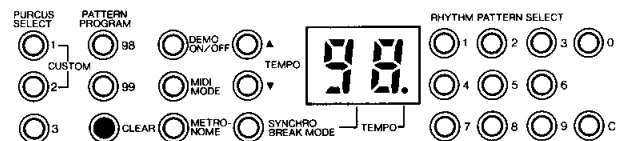
●入力した音が、プログラム状態で再生されない場合は、メモリーがフルになっているためです。不要な音を消去してメモリーに空きエリアをつくってから入力してください。

●現在のポジションを確認した場合は、スタート/リスタートのボタンを押してパターンの頭だしをおこなってください。

●1パターンにつき11種類の打楽器を録音できます。(ロール音、音量の強弱も1楽器として計算します。)

## 4 プログラムを終了します。

ストップのボタンを押すか、プログラムを開始した98か99のボタンを押すとプログラム状態が解除され、パターンナンバー98あるいは99に登録されます。これを演奏させる場合は、通常通りテンキー操作で98または99を指定してください。



どちらかを押す。

# MIDIコントロール

DD-10とキーボードなどのMIDI対応機をMIDIケーブルで接続すれば、DD-10の打楽器音を発音させたり、リズムパターンの変更、スタート、ストップをコントロールすることができます。まず、

DD-10のMIDI IN端子とキーボードのMIDI OUT端子をMIDIケーブルで接続して、キーボード側の送信チャンネルが何チャンネルか確認後、DD-10側で次の操作をおこなってください。

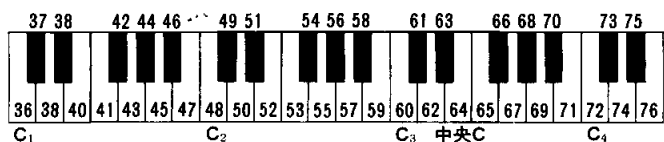
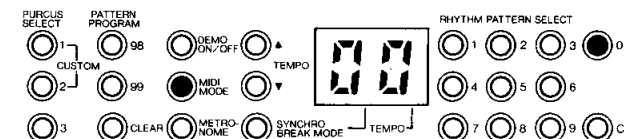
## キーボードでDD-10の打楽器音を発音させてみましょう

●MIDIレシーブモード1(キーノートモード)のセッティング  
MIDIボタンを押しながらテンキーで“00”を入力します。キャンセルキーも通常通り使用できます。このモードでは、キーノート情報(キーボードのどの鍵盤が押されたかという情報)のみを受信します。

●上の操作を行った後、キーボードを弾いてください。DD-10から打楽器音が発音されましたか?もし、発音されない場合は、次のような理由から考えられます。

▲キーボード側の送信チャンネルとDD-10の受信チャンネルが合っていない。DD-10の受信チャンネルの切り替え操作を行って、キーボードの送信チャンネルに合わせてください。次ページ参照。

■DD-10の受信チャンネルはMIDIボタンを押して確認できます。  
▲送られてくるキーノート番号に対応した打楽器がない。キーノート番号とは、鍵盤ひとつにわりふった番号です。どの鍵盤がどのノートナンバーかを示したのが右図、下表はそのノートナンバーと打楽器名の対応表です。



\*印の鍵盤を押さえても音は発音されません。

No.	打楽器名	No.	打楽器名	No.	打楽器名	No.	打楽器名	No.	打楽器名	No.	打楽器名	No.	打楽器名
38	シンセ スネア	44	バス ドラム	50	タム 2	56	カバサ	62	ライド シンバル	68	ボンゴ ハイ	74	アゴゴ ロー
39	*	45	バス ドラム	51	リム	57	ハイハット クローズ	63	クラッシュ シンバル	69	*	75	アゴゴ ハイ
40	シンセ タム ロー	46	リム	52	スネア	58	*	64	コンガ ロー	70	*		
41	シンセ タム ロー	47	タム 4	53	タム 1	59	ハイハット オープン	65	コンガ ハイ	71	*		
42	シンセ タム ハイ	48	タム 3	54	ハンド クラップ	60	ライド シンバル	66	コンガ ハイ	72	カスタネット		
43	シンセ タム ハイ	49	スネア	55	カウベル	61	スプラッシュ シンバル	67	ボンゴ ロー	73	クラベス		

## キーボード側でリズムパターンを変更したり、スタート/ストップをコントロールしてみましょう

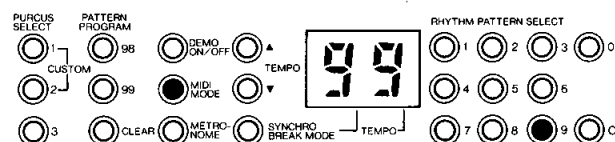
●MIDIレシーブモード2(セルフパターンモード)のセッティング  
MIDIボタンを押しながらテンキーで“99”を入力します。このモードでは、プログラムチェンジによりリズムパターンを変えることができます。また、キーボードのリズムをスタートさせることで、DD-10のリズムパターンをスタートすることができ、キーボード側でリズムを停止すればDD-10のリズムをストップさせることができます。この時、DD-10のスタート・ストップも有効です。例えば、キーボード側でスタートして、DD-10側でストップさせることが可能です。テンポについてはキーボード側がクロックを送出するモードの時は、キーボード側のテンポに同期します。クロックを受信しない場合(キーボード側がクロックを送信しない状態になっている時)は、DD-10で設定されているテンポになります。このモードの時、キーノート情報は一切受け付けません。

●上の操作で、リズムパターンをスタートさせた後にキーボード側の音色を変えてください。それぞれの音色には音色番号が割

り振られていて、その音色番号を受信すると、その番号に対応したリズムパターンに切り替わります。切り替わらない場合は、次のような理由が考えられます。

▲キーボード側の送信チャンネルとDD-10の受信チャンネルが合っていない。DD-10の受信チャンネルの切り替え操作を行って、キーボードの送信チャンネルに合わせてください。次ページ参照。

▲キーボード側で、プログラムチェンジオフ(音色番号を送信しないモード)になっているためです。キーボード側のプログラムチェンジオフを解除してください。

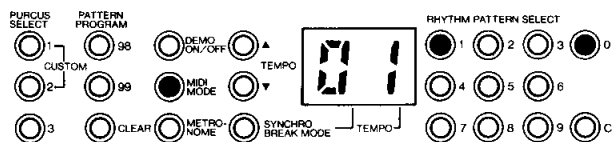


## 受信チャンネルの切り替え

モード1とモード2の受信チャンネルを変更したい場合は次の操作をおこなってください。

MIDIボタンを押して現在の受信チャンネルを確認した後、MIDIのボタンを押しながらテンキーで“01”から“16”までの数字を入力します。

- ここで、設定したチャンネルは電源をオフにしても記憶されます。
- 内部メモリーを初期化すると16チャンネルにセットされます。



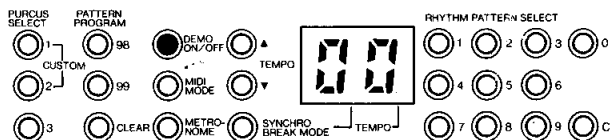
## 補足説明

### デモンストレーション演奏とRAM領域の初期化

#### ●デモンストレーション演奏

デモ オン/オフのボタンを押せば、いつでもデモンストレーション用のリズムパターン演奏を聴くことができます。これにあわせて、パッドまたはペダル操作で演奏をおこなうこともでき、7ページで説明しているリズムパターン演奏中の操作の中で、 が可能となります。

尚、パターンプログラム中にこのボタンを押してもそれまでに記録したプログラムデータは保存されますのでご安心ください。このデモンストレーション演奏を止める場合は、デモ オン/オフのボタンを押すか、ストップのボタンを押してください。



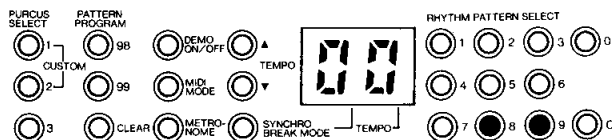
#### ●RAM領域の初期化

DD-10には、内部メモリーがあり、ここに書き込んだデータは電源をオフにしても乾電池のはたらきで保存されます。この内部メモリーを元のデータ（工場出荷時のデータ）にしたい場合は次の操作をおこなってください。

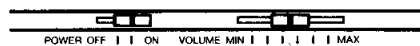
パワースイッチをオフにしてから、テンキーの8と9を押しながらパワースイッチをONにします。

この時に読み込まれたデータは次の通りです。

- ・リズムパターン98と99にはパターン“00”リズムパターンデータ
- ・カスタムパーカッションセレクトのデータ、4ページ参照。
- ・MIDI受信チャンネルは16チャンネル



.....



- 電源アダプターおよび乾電池のいずれもとりはずして、約5分以上が経過すると、内部メモリーが初期化されます。

# DIGITAL DRUM BANK DD-10

## MIDIインプリメンテーションチャート

DATE : 9/08, 1987  
VERSION : 1.0

ファンクション		受信(レシーブモード1)	受信(レシーブモード2)	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1-16 * 1-16 *	1-16 * 1-16 *	*記憶されます。
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****	オムニ オフ × *****	
ノート ナンバー	音域	38-75 *	× *****	*9ページ参照
ベロシティー	ノートオン ノートオフ	○ 9nH、v=1-127 ×	× ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロール チェンジ		×	×	
プログラム チェンジ	設定可能範囲	× *****	○ 0-99 0-99	
エクスクルーシブ		×	×	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	× ×	○ *1 ○ *2	
その他	ローカル オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× × ○ ×	
備考		*1 INT./EXT.自動切り替え *2 スタート、ストップのみ		

モード1: オムニ オン、ポリ      モード2: オムニ オン、モノ  
モード3: オムニ オフ、ポリ      モード4: オムニ オフ、モノ

# 故障と誤りやすい現象/仕様

次にあげる現象は故障ではないかとおもいがちな現象です。故障だと思う前に、該当する項目がないかどうかお確かめください。

現象	原因と処置
ハイハット(0)のボタンを押しても音が出ない。	ハイハット(0)のボタンはハイハットのオープン/クローズのコントロール用であり、これ自身では音は出ません。
ハイハット(0)のボタンにロール効果が効かない。	ペダルを使つてのハイハットクローズ音には、ロール効果はかかりません。
セットしたカスタムパーカッションセレクトが呼び出せない。	パーカッションセレクトの1と2のボタンを同時に押ししていないため。または、登録する際に0-9までのテンキーと0のボタンを同時に押しながら操作しなかったため。
カスタムパーカッションセレクトで、ハイハットコントロールが、パッドの3に登録できない。	ハイハットコントロールは、ハイハット(0)のボタンにしか登録できません。尚、ハイハット(0)のボタンに他の打楽器音を登録して音を出したり、Lのペダルで音は出すことはできます。
パターンプログラム、カスタムパーカッションセレクト、MIDI受信チャンネルのデータが、電源をオフにしたら消えてしまった。	乾電池を入れなくて、電源アダプターのみで登録の操作をおこない、電源をオフにすると登録したデータは消えてしまいます。ぜひ、このようなことにならないように乾電池と電源アダプターを併用することをお勧めします。
MIDIケーブルで接続していて、DD-10側でテンポを変えたがテンポがかわらない。	機種によっては、リズムストップ中でもクロックを送信しているものがあり、DD-10のオートクロックがはたらいっているためです。
マニュアルテンポでリズムをスタートできない。	選ばれているリズムパターンの拍数だけ、マニュアルテンポのボタンを押さなかったため。あるいは、押した間隔が長すぎたためです。
リズムパターン演奏中、マニュアルテンポでテンポを変更できなかった。	マニュアルテンポは、現在のテンポを少し変えることを目的にしているため、急激なテンポの変更には反応しない場合があります。
パターンプログラム中に、すべての打楽器音を消したら、メトロノーム音が鳴りだした。	すべての打楽器音を消すと、自動的にメトロノーム音が鳴りだします。不必要な場合は、メトロノームのボタンを押してください。
パターンプログラム中に、打楽器音を入力しても記録されなくなった。	メモリーがフルになったためです。消してもよい打楽器音はクリアしてください。
MIDI信号入力中、キーノート情報とプログラムチェンジを全く受けつけない。	外部機器の送信チャンネルとDD-10の受信チャンネルがマッチしていないため。プログラムチェンジについては、外部機器側で、プログラムチェンジオフになっているため。
リズムが急に止まる。ディスプレイの表示が00になる。または何も表示しない。	乾電池の寿命です。6本とも新品と交換してください。

## 仕様

- |            |  |         |   |
|------------|--|---------|---|
| ●リズムパターン   | 00-99まで100パターン<br>*98と99はプログラムドパターン  | ●メインアンプ | 1.3W×2  |
| ●リズムコントロール | スタート/リスタート、ストップ、<br>イントロ/フィルイン1,2、マニュアルテンポ、<br>パーカッションセレクト1,2,3、パッド1-8、<br>ハイハットボタン、バスドラムボタン、<br>ロール、テンポ▲/▼、<br>パターンプログラム98,99、クリア、<br>リズムパターンセレクト、キャンセル、<br>メトロノーム、シンクロブレイク | ●スピーカー  | 10cm×2(6Ω)  |
| ●その他       | デモ オン/オフ、MIDIモード、<br>ディスプレイ、ペダル  | ●定格電源   | DC 9-12V：電源アダプター PA-1B<br>：単二乾電池6個                          |
| ●付属端子      | DC 9-12V IN、AUX OUT L+R/L,R<br>HEADPHONES、FOOT PEDAL、<br>MIDI IN   | ●消費電力   | 電源アダプター使用時：5.2W<br>乾電池使用時：2.3W<br>(電池寿命：マンガン電池で約20時間)       |
|            |  | ●外装     | 本体材質：スチロール樹脂<br>間口：543mm<br>奥行：173mm<br>高さ：72mm<br>重量：2.0kg |
|            |  | ●付属品    | 単二乾電池6個<br>ペダル<br>ストラップ                                     |

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入日から満1か年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。  
(日本国内のみ有効)

●保証期間の1か年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないで済みます。)

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター

〒211 川崎市中原区木月1184

TEL.044-434-3100

新潟電音サービスステーション

〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL.025-243-4321

大阪電音サービスセンター

〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL.06-877-5262

四国電音サービスステーション

〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内

TEL.0878-51-7777、22-3045

名古屋電音サービスセンター

〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

ヤマハ名古屋流通センター

TEL.052-652-2230

九州電音サービスセンター

〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092-472-2134

北海道電音サービスセンター

〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL.011-781-3621

仙台電音サービスセンター

〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL.022-236-0249

広島電音サービスセンター

〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL.082-874-3787

浜松電音サービスセンター

〒435 浜松市上西町911

TEL.0534-65-6711

(本社)

電音サービス部

〒435 浜松市上西町911

TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

# YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

---

## ヤマハ株式会社

本 社

シングルキーボード事業部／〒403 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)3275

東 京 営 業 所／〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3111

東京特販営業所／〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3111

大 阪 営 業 所／〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7491

名 古 屋 営 業 所／〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5150

九 州 営 業 所／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北 海 道 営 業 所／〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター

TEL.011(512)6113

仙 台 営 業 所／〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広 島 営 業 所／〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3749